

R7は市誕生20周年！ うるまハタチ

昨年4月1日に市誕生20年の節目を迎え、「うるまハタチ」の合言葉の下、さまざまなイベントにおいて市民とともに慶祝しました。10万人の来場者とともに「うるまハタチ！」のかけ声で市民総乾杯を行ったうるま市エイサーまつり、10年ぶりに本市で行った「うるまハタチ記念 第28回全国闘牛サミット」、勝連城跡の世界遺産登録25周年を記念した獅子舞フェスティバルなど、地元事業者の皆さまが主体となり、地域力を最大限に発揮したイベントを多数実施しました。スポーツ関連では、市民、市出身の多くの選手の活躍がありました。ゴルフの比嘉一貴選手、相撲の美ノ海関ほか、子どもたちの活躍も顕著で、ケイリンの久貝一心選手(高江洲中→北中城高)や陸上競技のオコンクオ・イケム・ジェフ選手(与勝中)など、多くの市民に感動を与え

てくれました。

友好都市の盛岡市、宇都宮市、文京区とは、これまで培ってきた相互の信頼を礎として、あらゆる分野における交流を積極的に進め、自治体間の信頼関係を強化してまいります。

市を元気にするための 予算編成

令和8年度の一般会計の予算は904億6,761万円、特別会計予算、企業会計予算を含めた総予算額は1,303億8,394万1千円です。積極財政を展開することにより、各種事業を通じ雇用を創出、地域経済を成長させ、持続的な発展を目指します。防災・減災などの安全対策、子育て支援、高齢者・障害者福祉など重層的支援に関連する事業の予算のほか、青年会エイサーの県外派遣や地域特性を活かした祭りなど、地域を活性化し、市を元気にするための意欲的な予算編成を行います。

感動産業特区を チーム一丸で

本市は、あらゆる人が輝き、感動にあふれた「感動産業特区」を推進していくにあたり、本市特有の自然や文化、歴史、食などをありのままの「まんまうるま」として大切にしています。

さらに、市民に寄り添った事業を積極的に展開し、あらゆる人が輝き、地域のありのままが感動を生む「感動産業特区うるま市」を、職員とともにチーム一丸となって邁進してまいります。

令和8年度は市制21年目、新たなスタートに向け、「うるま市の地域経済が福祉を支える好循環型社会のまちづくり」を目指し取り組んでまいりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。



令和8年度
施政方針